

平成30年6月7日
東北電力株式会社

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(確率論的リスク評価 (PRA) 地震PRA)

No	分類	項目	審査 会合日	回答
1	指摘 事項	炉心損傷頻度の算出に用いた計算コードの妥当性について説明すること。	H26.9.30	<ul style="list-style-type: none"> ・地震レベル1 PRAにおいては、信頼性解析支援システムを用いミニマルカットセットの生成を行った後、地震コードにより炉心損傷頻度の計算を実施している ・計算コードの妥当性は「信頼性解析支援システム及び地震コード」とCAFTAを用いた評価結果の比較をすることで確認している (資料1-1-4にて本日回答)
2	指摘 事項	起因事象の抽出について、網羅性及びスクリーニングの考え方を説明すること。	H26.9.30	<ul style="list-style-type: none"> ・起因事象は地震PSA学会標準で挙げられている事象を考慮したほか、国内で発生した地震による発電所への影響事例の調査及び海外文献調査を実施することで、抽出結果の網羅性を確認した ・事故シナリオのスクリーニングについては、これまでに決定論的に評価されている情報または運用面での対策・対応に関する情報に基づき判断した (資料1-1-4にて本日回答)